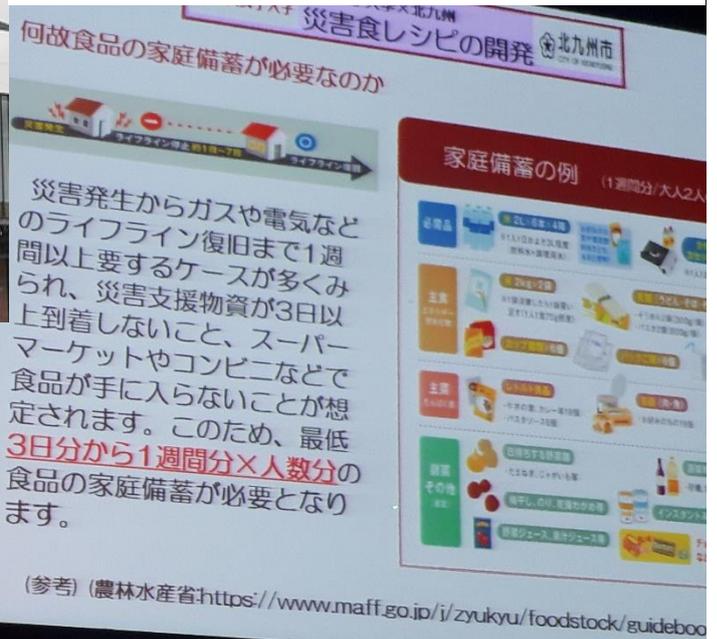


令和5年度 「八幡西区防災のつどい」 九州女子大学家政学部栄養学科3年生が 防災レシピの展示・発表を行いました



開催日：2024年1月27日(日)
開催時間：13:00~15:50
開催場所：黒崎ひびしんホール 大ホール



九州女子大学栄養学科は北九州市の備蓄食品を使用し、日常生活に災害食を取り入れる「ローリングストック法」を広げるためのレシピ開発を行っています。前回、12月に西日本総合展示場で開催された「北九州市防災フェスタ」に引き続き、今回も3年生の学生4名が黒崎ひびしんホールにて災害食レシピの発表と展示、レシピの配布を行いました。

発表はローリングストック法を用いた家庭備蓄の重要性や災害時に気を付けたい病気、北九州市の備蓄食品の問題点に対し、おいしく不足する栄養素を乾燥野菜、スキムミルク、ツナ缶などで補ったおいしい災害食アレンジレシピをステージの上で紹介しました。また、今年1月1日に起きた能登半島地震において、被害により届けたくても物資を届けることができない地域があったこと、「大切な方の命を繋ぐのが自宅備蓄しておいた食材になるかもしれない」と備えておくことの大切さを訴えかけました。最後には「被害に遭われた地域の皆様の早なる復興を願い、私たちにできることを考えていきたい」と学生達の純粋な防災に対する思いが会場に伝わり、涙ぐむ様子も窺えました。



八幡西消防署 署長 菊池 大介様
による主催者挨拶



災害食レシピの展示とレシピの配布

学生にとっても、大学で学んだ栄養学の知識を生かし、北九州市民の家庭備蓄の普及に貢献できたという充実感で一杯の様子でした。

これからも九州女子大学は北九州市との連携を深め、学生の実践的な教育の場を広げると共に市民の防災意識の向上に努めます！！

